

**基本  
理念****高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします**

## 令和6年度を迎えて

院長 吉住 秀之

昨年度は5月にCOVID-19が5類感染症となり、日本社会もコロナ禍前の社会経済活動が再開しました。しかしコロナ禍中に生じた社会経済分野でのひずみは物流や人材に大きな爪痕を残しました。その影響が医療分野に及ぶのではないかと懸念しています。さらに世界情勢は戦争や紛争で混沌としてきており、多くの物資を海外から調達しているわが国の場合、今まで当たり前提供できていた医療が突然できなくなるという事態が自然災害と同様に「今そこにある危機」であると言えます。これらの要因は、予測してコントロールできるような要因ではありませんが、利用者である患者側の不利益を最小限にするように当院だけでなく地域全体で考えなければならない問題であると新年度を迎えるにあたり強く思う次第です。

堅苦しい冒頭の挨拶となりましたが、明るい期待を抱いていることもあります。今年度の当院の新たな予定としては、まず7月に電子カルテが7年ぶりに更新されます。現在その準備作業が進行中ですが、円滑に更新を行ってより効率的な診療体制が構築できるよう職員全員で協力していきます。社会情勢も医療DXの推進とともにマイナンバーカードを健康保険証として利用する動きが進んでいます。患者個人個人の医療情報がきちんと保護されつつも有効に活用され、未来の医療の有望な資産となるような環境整備に国立病院機構の一病院として取り組んでいきたいと思えます。

次に治療に直接関わることとしては、当院にも手術支援ロボットのダビンチが導入されます。

まず泌尿器科分野の手術において活用し、より質の高い手術を推進していきます。手術は、メスで腹部を大きく切開する手法から内視鏡による手術、そしてロボット支援手術へと技術革新が進んできました。この流れがさらに進んでいくことは間違いないので、将来多くの患者が恩恵を受けられるように他の診療分野への展開も視野に入れて運用していきたいと考えています。

仕事をしていけば必ず困難にぶち当たるものですが、目の前にある、または来るかも知れない困難にみんなが智恵を出し合ってあたっていけば解決は出てくると私は信じています。一番いけないのは、考えもせず私はできないと決め込むことです。人の愚かさというのは、知らないということ自体よりも知ろうとしない怠慢さ、知っていることを使おうとしない怠惰さにあります。だから直面する課題に対しては、「私にはできない」ではなく、「私ならこうしてみる」という態度で臨みたいものです。

新しく異動した職員の皆さんは斬新な智恵を、引き続き在職している職員の皆さんは経験に裏打ちされた智恵をそれぞれ出し合って、地域医療を支えていきましょう。



## 能登半島地震医療班活動報告



2024年1月1日に能登半島地震が発生し大勢の尊い命が失われました。被災され犠牲となられました方々へ心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

能登半島地震の被災地の一つである石川県輪島市に、この都城医療センターより国立病院機構を通じ、医師、看護師2名、薬剤師、事務といった5名の医療班を2月15日から17日までの3日間派遣となりました。

医療班は、主に避難所における被災者の健康管理や、避難生活の感染予防の啓蒙活動などを行いました。また、診察により病院治療が必要な患者の検討・調整を行いました。地震発生から約6週間が経過していましたが、避難所によって差があり、依然として医療サポートが必要な状況という印象がありました。また道路交通の完全復旧にはまだまだ時間を要すると予想され、必要生活物資の提供の問題や、現地の医療機関の通常診療体制が維持できるか等、今後の課題も多々あるかと思いました。

特に現地の医療従事者は被災者でもあり、その精神的負担は図りし得ないものと思います。今後も現地の状況に注目しながら、可能な限り支援を行えたらと思います。

末筆になり恐縮ですが、被災された方々をはじめ各方面において救援活動に従事されている皆様におかれましては、何卒ご自愛いただきますとともに、1日も早い復興をご祈念申し上げます。

(都城医療センター外科 蔵元 一崇)

## 職員就任挨拶



氏名：下川 琢也

勤務部署：外科医師

抱負：地域医療に貢献できるよう、全力で取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



氏名：榎木 康人

勤務部署：泌尿器科医師

抱負：小学生以来の都城です。恩返しできるよう頑張ります。



氏名：山本 章裕

勤務部署：耳鼻咽喉科医師

抱負：都城の地域医療に貢献できるよう、誠心誠意頑張ります。どうかよろしくお願いいたします。



氏名：山口 航生

勤務部署：麻酔科医師

抱負：4月から大学病院より赴任しました。麻酔科山口です。1年と短い間ですが都城の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



氏名：黒木 梨加

勤務部署：小児科医師

抱負：患者様の心に寄り添い、患者様中心の医療を提供します。



氏名：田中 久美

勤務部署：看護部長

抱負：周囲の皆様に支援をいただきながら少しでも早く都城医療センターの一員としてお役に立てますよう精進して参ります。都城という地域を大事にし、地域に親しまれ貢献できる都城医療センター看護部になるよう尽力したいと思います。



氏名：喜多 恒允

勤務部署：整形外科医師

抱負：都城地域の皆様のお力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



氏名：花房 豊宜

勤務部署：診療放射線技師長

抱負：南九州病院より赴任してまいりました花房豊宜と申します。患者さんの安心安全を第一に、病院に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



氏名：鶴田 雅史

勤務部署：泌尿器科医師

抱負：10年振りに勤務することになりました。よろしくお願いいたします。



氏名：林 有里

勤務部署：栄養管理室長

抱負：大牟田病院から参りました栄養管理室の林です。治療に貢献できる栄養管理が図れるよう尽力致します。ご指導宜しくお願い致します。

## 「第75回卒業証書授与式」・「第78回入学式」

この度、看護学校では来賓及び保護者にもご臨席いただき「卒業証書授与式」と「入学式」を執り行いました。卒業生 36 名は患者の皆様や病院関係者の皆様、講師の先生方に多大なるご支援を賜り、感謝の気持ちを胸に学び舎を巣立っていきました。その卒業生も全員、看護師国家試験に合格することができました。

4月3日には新入生 45 名は学校長より入学許可を受け、新たな学校生活を開始いたしました。本年度も新入生を含め、看護学生の教育に関する皆様のご理解やご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 第75回 卒業証書授与 令和6年3月1日(金)

令和6年3月1日無事に卒業式を挙行することができました。

在校生の送辞では、学校生活の思い出を振り返りながら、「今後、共に様々な経験の中から学び自分達の看護の力をあげていきましょう」という言葉が送られました。それに対し、「実習での経験の中で支援をしていた私が実は支援をされていたということに気づく経験ができた。三年間を振り返ると入学時からコロナ禍で窮屈さを感じながらもみんなで授業を受けられる喜びを感じたり、実習でうまくいかない時には一緒に泣いたりとどんな物にも代えられない三年間を過ごすことができた。今後、看護の道を精一杯進んでいきたい」という言葉が述べられました。

(教員 一柳明日香)



### 第78回 入学許可 令和6年4月5日(金)

花々の香りに包まれ、春風が心地よい今日のおよき日に、私たち 78 回生 45 名は、独立行政法人国立病院機構都城医療センター附属看護学校に入学を許可して頂きました。

本日は、私たち新入生のためにこのような場を設けて頂き、御礼申し上げます。

私は幼少期に体が弱く、何度も入退院を繰り返していました。その時に看護師の方々は、入浴できなかった私の体をふき、髪を洗ってくださるなどの生活面でのサポートや一人で寂しい私に寄り添いながら精神面でのサポートをしてくださいました。看護師さんたちの気遣いのおかげで安心して入院生活を過ごすことができました。私もあの時の看護師の方々のように治療だけでなく生活面や精神面もサポートし患者さんやご家族に寄り添うことのできる看護師になろうと思いこの道に進むことを決意しました。

これからの三年間、伝統あるこの学校で仲間と切磋琢磨し、精一杯努力することを誓います。

(新入生代表 園田 帆乃香)



# 連携医療機関の紹介

## みまつこどもクリニック

住所：宮崎県小林市堤 2322-4  
電話：0984-22-1234  
診療科目：小児科・アレルギー科  
休診日：木・土曜午後、日曜祝日



院長 柳辺 秀一 先生

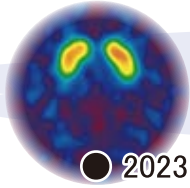


当院は、三松小学校と三松中学校の中間地点、国道221号線に面した場所にあります。小児科が少ない地域の小児医療に貢献したいと思い、令和5年11月に開院しました。

私は2010年に熊本大学を卒業後、熊本市内の病院や都城医療センター、県立延岡病院に勤務してきて、一般小児医療や小児救急、新生児医療などを学びました。2018年4月から2020年9月まで都城医療センターに勤務しておりましたが、その頃より小林市は小児科が少ないという話を聞いており、開業も少し考えておりました。この度、子供が産まれたのをきっかけに、実家の熊本と妻の実家の都城の間にある小林での開業を決意しました。

西諸県圏内の小児科の特徴として、小児の入院患者を診ることが可能な施

設がなく、都市内や宮崎市内の病院に依頼をしています。開院後、まだ慣れない事が多く、都城医療センターの先生方には大変お世話になり、とても心強く思っています。また、小林市在住の子ども達をご紹介頂きありがとうございます。当院の特徴としては、一般小児診療を中心に、地域のニーズに応じて柔軟に対応したいと思っています。アレルギーに関してはリスクの少ない患児の食物負荷試験を開始しており、舌下免疫療法など少しずつ出来ることを増やしていきたいと思っています。当院で対応可能と思われる児に関しましては気軽に相談頂けると幸いです。地域の子どもの受け皿になれるよう、精進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



## ダットスキャンシンチのご案内

● 2023年10月からダットスキャンシンチ 検査が可能になりました ●

### ダットスキャンとは

#### 概要

- \* 脳内のドパミントランスポーターの働きや、その状態を画像化する検査です。
- \* 表面的には運動機能や認知機能の障害が同じように出現していても、「アルツハイマー型認知症」では脳内のドパミンの減少は見られないため、画像上の線条体集積の状態により、ドパミンの減少が特徴である認知症と鑑別することができます。
- \* 放射性医薬品を腕の静脈から投与し、およそ3時間後に検査になります。検査時間は30分ほどです。

#### 鑑別疾患

レビー小体型認知症、パーキンソン病 など

#### 注意事項

- \* この検査では、画像読影上の理由で、**可能な範囲で休薬が必要な薬品**と、休薬は必要ありませんが、**内服の把握が必要な薬品**があります。詳細は、当院ホームページの「ダットスキャンシンチ検査の内服・休薬チェックリスト」にお薬の内服の有無および休薬についてご記入をお願いします。**この用紙は、Faxをいただくか、検査当日患者さんにご持参いただくようお願いいたします。**
- \* 注射薬にアルコール成分が5%混合されており、**アルコールに過敏な方は検査できかねます。**  
**以上の注意事項に関しては、依頼される医師の判断にて、よろしくお願いいたします。**

#### 検査の予約方法

- ①当院の**画像診断センター**へお電話ください。検査の日程を調整いたします。
- ②**診療情報提供書(画像診断検査申込書)**と**ダットスキャンシンチ検査の内服・休薬チェックリスト**を**Fax**でご送付ください。 ※当院ホームページよりダウンロードできます(下図参照)。

医療関係者の方へ

- スキルラボセンター
- 地域連携
  - 画像診断の申し込みについて
  - 急患について
  - 患者さんのご紹介について
  - 地域医療支援病院とは
  - 登録医療機関
- 講演・研修 (医療者向け)
- 職員・ボランティア募集
- 臨床研修センター

■画像診断検査申込書はこちら(PDF およびExcel ファイル)  
 画像診断検査申し込みについて

診療情報提供書 (画像診断検査申込書)  
 診療情報提供書 (画像診断検査申込書) Excelダウンロード

■各種検査説明書はこちらから(PDF)  
 CT検査説明書  
 MRI検査説明書  
 骨シンチ検査説明書  
 骨シンチ以外検査説明書

123-I 甲状腺検査におけるヨード制限食について  
 ダットスキャンシンチ検査の内服・休薬チェックリスト

#### 検査当日の患者さまの流れ



▼検査のご予約 または お問い合わせ▼

画像診断センター (直通)  
Tel: **0986-23-5005** (Fax兼用)

独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター